

○財務省告示第百六十四号
 個人向け国債の発行等に関する省令（平成十四
 年財務省令第六十八号）第四条第十四項の規定に
 基づき、平成二十三年四月十五日に発行した個人
 向け国債の発行条件等を次のとおり告示する。
 平成二十三年五月十一日

財務大臣 野田 佳彦

| 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 十 |
|--------------------------|----------------------------------|---|---------------------|-------|---|-------------|-------------|------------|--|
| 名称及び記号 | 発行の根拠 | 振替法の適用等 | 発行額 | 最低額面金 | 振替単位 | 発行日 | 発行価格 | 初期利率の | 第二期以後 |
| 個人向け利付国庫債券（変動・十年）（第三十四回） | 特別会計に関する法律（平成十九年法律第二十三号）第四十六条第一項 | 社債、株式等の振替に関する法律（平成十三年法律第七十五号。以下「振替法」という。）の規定の適用を受けるものとし、その振替機関は日本銀行とする。 | 額面金額で百二十五億六千七百九十六万円 | 一万円 | 振替法の規定による振替口座簿の記載又は記録は、最低額面金額の整数倍の金額によるものとする。 | 平成二十三年四月十五日 | 額面金額百円につき百円 | 年〇・五一パーセント | 年当たり、各利払期における利子計算期間開始日前行われた発行から償還までの期間が九 |

十一 初期利子

年五か月超の十年利付国債の直
近における入札（当該開始日の
属する月に行われた入札を除く
）。の結果に基づき算出された
複利利回りから、〇・八〇パー
セントを控除した率。ただし、
控除した率が〇・〇五パーセン
トを下回るときは、その率は〇
・〇五パーセントとする。
平成二十三年十月十五日を支払
期とし、次の算式により算出し
た金額を支払う。ただし、支払
期が銀行休業日に当たるときは
、その翌営業日に支払う（以下、
次号及び第十三号において規定
する期日について同じ。）。

$$\text{額面金額} \times \frac{0.51}{100} \times \frac{1}{2}$$

十二 第二期以後の利子

毎年四月十五日及び十月十五日
を支払期とし、各支払期におい
て、その日以前六月間に属する
利子として、次の算式により算
出した金額を支払う。

$$\text{額面金額} \times \frac{\text{第十号に規定する第二期以後の利子の適用利率}}{100} \times \frac{1}{2}$$

十三 償還期限
十四 償還金額
十五 払込期日
十六 払込場所
十七 中途換金
の取扱い

平成三十三年四月十五日
額面金額百円につき百円
平成二十三年四月十五日
日本銀行の本店又は支店
中途換金の買取りは、平成二十
四年四月十五日以後に行

うこととし、その買取金額は、次の区分に応じ、それぞれの算式により算出した金額とする。

(一) 平成二十四年四月十五日から平成二十四年十月十五日前までの間の場合

$$\begin{aligned} & \text{償面金額} + \text{溢面利子に相当する金額} - (\text{買い取る日の直前の利子支払期に支払われた利子に相当する金額} \times \frac{80}{100} + \text{その直前の利子支払期に支払われた利子に相当する金額}) \\ & \times \frac{80}{100} - \text{受入経過利子に相当する金額} \end{aligned}$$

なお、受入経過利子に相当する金額は、次の算式により算出し、その算出結果に円未満の端数が生じた場合には切捨てとし、一円に満たない場合には一円とする。ただし、受入経過利子に相当する金額は、個人向け国債の発行等に関する省令（平成十四年財務省令第六十八号）第四条第十二項に規定する受入経過利子が発生しない銘柄については零とする（次号において同じ。）。

$$\text{償面金額} \times \frac{0.51}{100}$$

初期利子支払期の6ヵ月前の日

× から発行日までの日数

中途換金の
の特例

(二) 平成二十四年十月十五日以

後の場合

償還金額 + 密通利子に相当する
金額 - (買入取る日の直前
の利子支払期に支払われた利
子に相当する金額 $\times \frac{80}{100}$ + そ
の直前の利子支払期に支払わ
れた利子に相当する金額
 $\times \frac{80}{100}$)

前号による取扱いのほか、個人
向け国債を有する者（相続税法
（昭和二十五年法律第七十三
号）第二十一条の四第一項に規
定する特別障害者扶養信託契約
の受益者を含む。）が、死亡し
たときにはその相続人が、又は
その居住する市町村（特別区を
含み、地方自治法（昭和二十二
年法律第六十七号）第二百五十
二条の十九第一項の指定都市に
あつては、当該市又は当該市の
区とする。）の区域において、
災害救助法（昭和二十二年法律
第一百十八号）による救助の行わ
れる災害が発生し、当該災害に
かかったときには当該個人向け
国債を有する者が、平成二十四
年四月十五日前であつても、当
該個人向け国債の中途換金を請
求することができるとし、
その買取金額は、次の区分に応

じ、それぞれの算式により算出

した金額とする。

(一) 平成二十三年十月十五日か
ら平成二十四年四月十五日前

までの間の場合

すすすすす
当当当当当
ににににに
利利利利利
子子子子子
ににににに
相相相相相
当当当当当
すすすすす

(二) 平成二十三年十月十五日前

すすすすす
当当当当当
ににににに
利利利利利
子子子子子
ににににに
相相相相相
当当当当当
すすすすす